

環境は変化しているのに「仕事の取り組み方が変わらない」
で困っていた企業

「業績や成果が停滞！」 マンネリ化した活動をどうやったら 改善できるのか？

事例シェアリング

企業で支援してきた「制度や活動の改善策」

「定例的に実施するのみである」「制度はあるが効果的な運用がされていない」「目的や意味が深く理解できないまま実施している」等、困っている具体的な課題やその対応事例と方法を紹介する

経営層、担当者の目的などの理解

マネジャーは、活動は道具であり、その活用のしかたの
理解と改善

環境変化、社員視点の制度自体の改善



テーマ⑨ 業績や成果を向上させた「マンネリ化した制度や活動の改善」
（課題解決研究交流会）

日 時 第3回 12月 4日（水）10：00～16：00

対象者 部下を支援するマネジャーの方々

会場 名古屋駅近郊 会議室

講師 柘植 吉則（中産連 コンサルタント）

経営人材コンサルタントとして、人材分野を専門とし、経営視点から組織や人材の支援。職歴は商社、シンクタンクを経験し、その後、中部産業連盟に入職。経営人材関連の支援32年、大学非常勤講師20年。学生から経営者まで幅広い方との交流を通じて学ぶ。実績としてはキャリア制度、人事制度、教育制度、採用から退職までのしくみなど人材マネジメント改革を、企業内研修では制度構築や運用支援のための教育、階層別教育など講師として研鑽中。

参加費 中産連会員：36,300円/回（中産連会員外：39,600円/回）

お問合せ

一般社団法人中部産業連盟
TEL：052-931-3189(直)

社会貢献事業部 受託事業部 加藤
chs@chusanren.or.jp

テーマ⑨「マンネリ化した制度や活動の改善」の詳細内容

1. 研究交流会の進め方 (1) テーマ、講師・受講者紹介 (2) 研究事例と問題点 2. 制度や活動の見直しのポイント (講義と相互交流) (1) 制度や活動を棚卸しし、全体像を把握 KPI、部門計画、SDGs、1 on1、改善など 制度や活動は多い (2) 各種制度や活動の目的と重要度の理解 実施するだけでなく、改めて目的を伝える (3) 制度や活動の成果はマネジャーの腕次第 道具であり、使う人で効果が変わる (4) 形骸化してく制度や活動の改善 基本として継続的に、重要なこと 環境変化とこれから求められること 大きな観点、一段上の視点 幅広、深堀、アイデア出し、手段を変える	3. 具体的な検討：個人、グループワーク (全体発表：講師支援) (1) 目的を理解し、全体計画を立て、自分の言葉で伝えているか (2) 部下の取組みはよい結果が出ているか (3) 部下の制度や活動に対する役割意識、能力行動はどうであるか (4) 個人別のよい点・改善点を知り、フィードバックや支援しているか (4) 結果や事例を組織全体で共有しているか (5) 全体感を持ってPDCAを回せているか 4. 研究交流会での気づきと今後の取組み (個人：講師支援) (1) 気づいたことと実施すること (2) 職場に戻って実施する計画 (3) 計画が確実に進むための留意点
---	--

【課題解決研究交流会】

「課題解決研究交流会」は、外部のプロフェッショナル集団である外部プロ人材が、企業で解決した問題や得た知見・経験を基に、「ゼミ方式」により参加者が自らの発表や討論を通じて学びを深める場です。各研究テーマに関わる参加者同士の交流を通じて、課題解決に向けたアイデアや取り組みに気づきを得ることを目指しています。

※この交流会は、人材育成の一環として実施される「一般的な職務上必要となるスキルや知識を身に付ける研修会」ではありません。



申込書「マンネリ化した制度や活動の改善」 (12/4) FAX：0120-342-340

会社名	☐ 会員 ☐ 会員外	申込責任者役職	
所在地	〒	申込責任者氏名	(フリガナ) -----
電話		メールアドレス	
①参加者役職		②参加者役職	
①参加者名	(フリガナ) -----	②参加者名	(フリガナ) -----

※ご案内したテーマにかかわらず、人材が貴社に伺い、企業内伴走支援及び集合教育を実施する事も可能です。
今回ご記入頂いた個人情報、セミナー等の運営・情報提供（郵便、メール、FAX等）においてのみ使用致します。
関連情報等が不要の場合、右記にレ点をご記入ください。 ☐セミナー等の情報提供を希望しない